

ステータス:	終了	開始日:	2009/11/19
優先度:	通常	期日:	
担当者:	ta	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<p>制約条件の入力の仕方が分かり、また、「RTC名.conf」のコメントアウトを外すことで、制約条件を有効化できたので、確認を行っていたところ、いくつかの不具合が出ています。(RtSystemEditor側の操作にも影響していますが、こちらにチケット発行します。調整ください。)</p> <p>(1)"Widget"に「radio」を選ぶと、"Step"の欄が入力不可となるが、これは、他のコンフィグパラメータを変更する時にも影響が残ってしまい、他のパラメータで例えば「Slider」を選んだ際に、「Step」を入れられない状態になる。</p> <p>(2)"Step"について、「刻み幅」を入れるものと思ってましたが、Step数を入れるようですね。これは、刻み幅を入れた方がユーザビリティ的には良いのでは？(例えば大きなMin/Maxの場合は均等な刻みにするためのStep数を算出したり、割り切れない数の場合に面倒です。ユーザは「1」とか「100」とか「0.1」とかを入れたいと思います。)</p> <p>(3)Builderで、「Spin」を選び、例えば「-100<x<100」という制約にし、「Step」に「100」を入れて保存してgenerateすると、吐かれる「RTC名.conf」にSpinの刻み情報が入りません。気づけば、入力したはずの"Step"の値が消えています。(「Slider」の時は入りますが。)どうも、Spinの時のStepの入力が反映されない。</p> <p>(4)「RTC名.conf」を手修正し、例えば、「conf_widget_aaaa: spin.100」などとして、RTCを起動すると、コンフィグの変更において、普通のテキストBOXになりSpin機能が出てきません。そもそも、Spinの刻みを指定が不可？</p> <p>(5)Spinの場合、Stepなしのデフォルトだと、「1」ずつ刻まれるようですが、上述の「-100<x<100」という制約に対し、負の値の方に進めません「0」より下がれません。</p> <p>(6)例えば、コンフィグパラメータがDouble型だとしても、制約条件で「-100<x<100」のようにint扱いにすると、Stepを変えても、小数点単位で刻めない(Spinだと「1」ずつ)。「-100.0<x<100.0」のように変えれば、Spinの場合「0.1」ずつ、「-100.00<x<100.00」とすれば、「0.01」ずつのようだが、ここは、やはり、制約条件の有効数字を見るのではなく、「Step数」でなく「刻み幅」としてその刻みの有効数字で小数点判断した方がよいのでは？</p> <p>(7)Slider,Splinとも、テキスト入力にて、Min/Maxを越える値を指定できるが、その際に、赤色に入力欄がなり、強制的にApplyした時に、Min/Max値に変更される場合と、そうではなくランダムな値に変わることがある。エラー処理の部分があやしいかも？</p> <p>(8)「Slider」において、デフォルト値が「1.0」とし、制約が「-100.0<x<100」の場合に、最初のバーの位置が「1.0」の位置にない。(表示は「1.0」なのに、実際は「-53.0」くらいの位置にあった)</p> <p>(9)細かいですが、「radio」で列挙型に同一なものを入れてもエラーは出ません。このままRTCを起動すると、初期値で複数にradioが付く不具合もあります。(このあたりはエラー処理が細かいので未着手と思いますが。)</p> <p>(10)制約条件については、開発者が決めるため、Builderで指定は納得ですが、「Step」については、どちらかというRTC利用者に依存すると思うので、Builderで指定すべなのか疑問があります。これは、RtSystemEditorのコンフィグ変更画面にて、ユーザが指定できるようにした方がよいのでは？</p>			

履歴

#1 - 2010/01/19 02:15 - ta

- ステータスを新規から担当に変更

- 担当者をtaにセット

- 進捗率を0から50に変更

(1)(3)については修正済み

(5)Eclipse3.4版にて修正(3.2版ではEclipseの制約により設定不可)

(7)(8)現象を再現できませんでした
(9)RtcBuilder側のValidationは追加

#2 - 2010/01/19 18:00 - 匿名ユーザー

- ファイル 7-5.png を追加
- ファイル 8-1.png を追加
- ファイル 8-2.png を追加
- ファイル 8-3.png を追加
- ファイル test.zip を追加
- ファイル 7-1.png を追加
- ファイル 7-2.png を追加
- ファイル 7-3.png を追加
- ファイル 7-4.png を追加

(7)、(8)について、SyatemEditorで再現しないということでしたが、念のため補足情報としての現象の図と、現象が起きたサンプルRTC(C++版,Ubuntu8.04で動作確認)を添付します。
もし、そちらの環境でもテスト出来るようであればご利用ください。

(7)について、「ランダム」という表現は間違っていました、すみません。
添付の「7-1」の図で、Sliderの「distanceLimit」の値が元々「1.0」ですが、「200.0」を入力しようとして、「20.0」のように入力途中で既にSliderもその位置に追従して動いてくれますが、添付の「7-2」のように「200.0」にしてみます。
このとき、Maxは「100.0」ですので、Validateでエラーとなり赤色になります。
このまま、Applyすると、「7-3」のように、現在のSliderのある位置の値「20.0」が自動的に入るようです。

次に、添付の「7-4」のSpinの「timeLimit」というパラメータの方ですが、同様にMAXが「100.0」なのですが、「500.0」にしてみようと「50.0」までの入力はOKですが、0を付け足して「500.0」にしてフォーカスがずれた途端、MAX値の「100.0」に自動的に補正されます。(添付の7-5)

ということで、MAX値の補正の場合と、Sliderの位置の自動取得という2パターンのようなようです。
仕様通りであれば、そのままお願いします。

次に、(8)についてですが、今回分かりやすいように、Sliderのパラメータ「distanceLimit」を対象として、元々「100.0」という値だった場合、「編集」ボタンで起動すると、添付8-1のような位置にSliderがセットされます。これをスライダー両サイドの矢印ボタンで1回クリックすると、添付8-2のように「-55.5」になります。つまり、この位置は「-55付近」であり、本来「100.0」であれば、添付8-3のような位置にSliderがなければならぬという意味で書いていました。

やはり再現しないでしょうか？

#3 - 2010/01/21 12:51 - ta

- 進捗率 を 50 から 60 に変更

(4)を修正
(9)RTSystemEditor側を修正
(7)(8)再度、現象を確認中

#4 - 2010/02/01 12:07 - ta

(2)につきましては、「刻み幅」を入力する形に修正させていただきます。(Eclipse3.4版にて修正)
(10)につきましては、コンポーネント開発者側が設定する内容とのことでした。
(7)につきましては、Linux上でスピナを利用した場合のみ再現いたしました。
(Windows版とLinux版で挙動が異なっているようです)
再度、修正内容を検討させていただきます。
(8)につきましては、再現できませんでした。(2)の修正と合わせまして再度検証させていただきます。

#5 - 2010/02/15 12:02 - ta

- ステータス を 担当 から 解決 に変更
- 進捗率 を 60 から 100 に変更

(1)(2)(3)(4)(5)(6)(9)については修正させていただきました
(10)につきましては、コンポーネント開発者側が設定する内容とご判断でした

(7)につきましては、Min/Max値を超えた値が入力された場合には、Min/Max値を設定する形に修正させて頂きました
(8)につきましては、再現できませんでした。

#6 - 2010/06/01 12:18 - n-ando

- ステータスを 解決 から 終了 に変更

ファイル

7-5.png	242 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
8-1.png	202 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
8-2.png	203 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
8-3.png	203 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
test.zip	27 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
7-1.png	203 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
7-2.png	203 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
7-3.png	168 KB	2010/01/19	匿名ユーザー
7-4.png	202 KB	2010/01/19	匿名ユーザー